

No.44

令和5(2023)年2月1日発行

主 な 内 容

特集「命を守る。まちを守る。」
..... 2～3

皆さんの声を議会へ
(一般質問) 4～6

主な議決結果..... 7

インターネット中継のお知らせ
傍聴してみませんか..... 8

たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！



マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



～懐かしのあの頃～

誰もが生きるエネルギーに満ちあふれ、家族や人々との絆を感じたあの頃。便利なインターネットなどではなくても、心豊かな毎日がそこにありました。昭和を中心に、当時の活気つく人々や町の様子、注目を集めたものなどを振り返る「懐かしのあの頃」を隔号で掲載します。



消防出初式
(昭和60年頃撮影)



特集

命を守る。まちを守る。

市民の生命や財産を守るため、毎日厳しい訓練を重ね、突然の事故や災害の発生に備え消防・救急は24時間体制で活動しています。そして昨年、滝川地区広域消防事務組合（以下広域消防）*は設立50周年を迎えました。

今回は、消防の活動に密着したほか、消防団の皆さんへのインタビューを行いました。

消防の1日に密着

1 8:30~

■勤務交代・車両点検・ミーティング



勤務交代を行った後、当日担当（消防隊、救助隊、救急隊）する車両と資材、無線等の点検を実施し、その後ミーティングを行います。

2 6:00~

■起床・車両整備・無線テスト

庁舎の清掃を行ったあと、各車両の整備や洗車、担当事務の申し送りなどを行います。

3 9:30~

■執務

各担当する係の執務を行います。その他に、避難訓練指導、予防査察、消防施設設備点検、救急救命講習などを行います。



4 22:00~

■通信業務・仮眠

通信指令室では24時間365日、119番通報に対応し、指令業務を勤務員が交代制で行います。



■小田部消防士のコメント



広域消防*管内唯一の女性救急救命士として、日常の訓練や現場での活動で日々勉強しています。

災害現場や、救急現場で住民の皆さんに安心していただけるような消防士を目指して頑張っています。

人命救助はここからはじまる～消防指令センター～

■消防指令センターとは？

火災や救急・救助などの119番入電から災害活動終了（活動車両の帰署）まで指令を出したり、情報伝達などを行い、現場での一連の流れを効率よく処理するための部署です。

■1日の平均受信回数は？

1日平均～11.02件
2021年の総受信回数～4,025件

■指令センター原田隊員のコメント

私たちは指令管制業務の一つとして、119番通報を受信し、通報内容から場所の特定、出動車両の選定、出動隊への出動指令を出しています。1分1秒でも早く出動指令を出し、消防のサービスが通報者の元へ行き届くように、指令管制業務の研鑽に励みたいと思っています。



*滝川市・赤平市・芦別市・新十津川町・雨竜町で構成される。



🕒 15:00~

■日常訓練

どのような災害が発生しても確実・迅速に対応できるよう、火災・救助・救急の想定訓練を毎日行います。



🕒 17:45~

■トレーニング

主に、夕食・休憩以降、日常業務の合間に時間をつくり、各々トレーニングを行います。



火災を防ぐ7つのポイント

- 1 放火対策
- 2 寝たばこ・ポイ捨ては厳禁
- 3 マッチやライターで遊ばせない
- 4 ストープ周りの整理整頓
- 5 配線周りをきれいに
- 6 コンロから離れない
- 7 風が強い日にたき火はしない



自分たちで守る～消防団の活動～

Q消防団とは？

消防署と同様に、それぞれの市町村に設置される消防機関です。

地域における消防防災のリーダーとして、地域に密着し、住民の安心と安全を守る重要な役割を担います。

Q消防団が出動するときはどのようなとき？

消防署員で対応困難な場合に消防団員を招集します。例えば火災の発生時、現場で水が足りないときや、火災の規模が大きく延焼しそうな場合などです。他にも自然災害が発生した場合などがあります。

Q消防団員の人数は？また女性の団員の人数は？

定員128名に対して、現在100名です。そのうち女性の団員は6名です。

Q消防団員の平均年齢は？

46.8歳です。

Q団員はどのような訓練をしているの？

月に1度、走行訓練や規律訓練、火災に対する座学訓練を行っています。

Q消防団員をしていて感動したエピソードは？

遭難している人を見つけたときや、出動して帰ってきたとき、近所の人から「ありがとう」と感謝の言葉を言われたときにやりがいを感じました。



ご協力いただいた消防団の皆さん

消防団員募集!!

災害時の出動、火災予防広報活動、教育訓練など積極的に出動できる市内在住の40歳以下の健康な方

☎滝川消防署管理課 Tel.23-1253

消防議会をご存じですか？

■消防議会とは

広域消防*を構成する市や町の議会の代表が集まり、消防の運営や予算などについて話し合う会議のことです。本市からは3人の議員が代表として参加しています。



皆さんの声を議会へ

当市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関から報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、12名の議員が質問しました。その一部をお知らせいたします。

質問者	質問項目
柴田 文男 (会派清新)	市長の4期目へ向けた課題
安樂 良幸 (新政会)	ふるさと納税 災害時における市民への通報手段 住民票等のコンビニ交付導入 乳幼児等医療費に対する助成制度の拡大 住宅建設・改修促進事業の継続
山本 正信 (会派みどり)	農政部廃止後の成果 担い手農家の人手不足対策 農業生産額の向上対策
堀 重雄 (公明党)	伴走型相談支援 高齢者支援 下水道汚泥処理
水口 典一 (会派清新)	PFI手法の活用 駅前再開発事業 子育て施策の充実 市立病院の医師確保
三上 裕久 (公明党)	企業版ふるさと納税 奨学金返還支援制度 都市機能誘導区域 都市機能誘導区域内の スマイルビルの今後 開西団地再編 学校給食費（令和5年1月～3月分）の全額支援 不登校児童生徒数の増加を踏まえた対策 いじめ認知件数の増加を踏まえた対策
東元 勝己 (会派清新)	産後ケア応援室の設置 美術自然史館の運営
木下八重子 (会派みどり)	幼児の遊び場の設置
佐々木和代 (新政会)	低所得者に対するサービス付高齢者向け住宅の整備 児童虐待防止 滝川市立病院の医療提供体制
寄谷 猛男 (共産党)	新文化施設建設 新年度の予算編成 物価高騰緊急見舞金の創設 加齢性難聴による補聴器購入への助成 地域カフェの整備 滝川東公園の再整備 学校の給食時間の設定
田村 勇 (新政会)	防犯カメラの増設計画 除雪、排雪の考え方 児童生徒の虐待対策 スキー・スノーボード学習
荒木 文一 (会派清新)	定年延長に関するアンケート調査 定年延長制度の概要 普通交付税調整額の追加交付 スポーツ関連設備 公園の利用に関する制約の有無

第4回定例会 一般質問から

市長の4期目へ向けた課題について



柴田 文男（会派清新）



問 先の市政報告会で4期目への出馬表明をされたようだが、次期まちづくりへの具体的な考えを伺う。

答 人口減少社会の中、持続可能なまちづくりを進めるため財政健全化に取り組み、基金の大幅な積立を行えたほか、財政状況を示す各種指標についても改善傾向にあり、成果が出始めていると考えています。今後は政策の大きな柱として子育て支援の充実に努めたいと思っています。ほかに、駅周辺のリノベーション、文化施設やふれ愛の里、温水プールなども課題だと認識しています。さらに教育施設の老朽化対策、高等学校の在り方にもしっかりと取り組みたいと考えます。いずれの課題も大変重要であり、皆様のご理解を得ながら進めていきたいと考えています。

乳幼児等医療費の助成制度について



安楽 良幸（新国会）



問 中学生までの医療費助成を全国の90%以上の市町村が行っている現状の中、本市においては非課税世帯の小学生に限定した助成にとどまっている。本助成制度の対象を課税世帯まで拡大すべきと思うが、市長の考えを伺う。

答 本市では、すべての小学生を対象にした医療費の助成拡大に向け政策協議を重ねてきましたが、市の財政に大きな負担を伴うことから今まで実現できませんでした。この制度は一度始めると継続しなければいけないと考えており、その財源の裏付けを考えなければいけません。本市は近隣市町で活用している過疎債という有利な財源は使えませんが、子育て支援を充実したいという強い思いもあるので、医療費助成拡大を早期に実現すべくしっかりと検討します。

農政部廃止後の成果について



山本 正信（会派みどり）



問 平成27年に農商工連携強化のため、経済部と農政部が統合して産業振興部が発足したが、その成果と農政部復活の可能性を伺う。

答 統合後、台湾への米の輸出、滝川地方卸売市場による農産物の輸出促進、夕張ツムラとの連携による薬用作物の栽培など一定の成果をあげていることから、現時点では今の体制を継続していきます。

問 農地の集積に伴い、今後さらに農業機械のオペレーター等の不足が懸念されるが対策を伺う。

答 ICT技術の導入やドローンのシェアリングの取組を推進しています。また、JAたきかわサービスでは、てん菜の収穫作業を受託するコントラクター（請負）事業を開始しています。今後も農業者の負担軽減に向けた調査や検討をしっかりと行っていきます。

伴走型相談支援について



堀 重雄（公明党）



問 伴走型相談支援の内容・取り組みについて伺う。

答 妊娠届出時、妊娠8か月頃、出産後の3回にわたり、保健師、助産師などが妊婦と面談を行い、出産・育児等の見通しを立てたり、産前・産後のサービス利用を一緒に検討、提案することで必要な支援等に切れ目なくつなげていき、全ての妊婦・子育て家庭に寄り添った支援を行うものです。

問 国はこの事業に対し、人件費も予算計上していると聞いているが、対応する人員の増員を図ることを考えているのか。

答 事業の詳細設計については、今後示されますが、既存の事業と新たに示される事業を分析・比較する中で人員の過不足等についてしっかりと把握しながら、最善の施策を考えていきたいと思っています。

子育て施策の充実について



水口 典一（会派清新）



問 来年、子ども家庭庁が発足予定となっており、子育て世代は大きな期待を寄せているが、どのような支援策を検討しているかを伺う。

答 子ども家庭庁の発足により、新規のモデル事業も予定されておりますが、情報を早く入手し、本市として何ができるかをしっかりと捉えながら、必要な支援を必要な方に届けられるよう、積極的に取り組んでいきます。

問 スマイルビルが閉鎖となり来春で2年となるが、今後の駅前周辺の活用方法として、どのような選択肢があると考えているのかを伺う。

答 現時点において具体的な選択肢は決まっていますが、例えば民間住宅の誘導、公共機能を一部備えた拠点施設など民間開発も含め、柔軟な考え方をもち、引き続き検討します。

奨学金返還支援制度について



三上 裕久（公明党）



問 貸与された奨学金の返還を本市が一部負担することで、若者の市内企業への就職を促すことへの見解を伺う。

答 今後の雇用動向や社会情勢の変化、導入済みの他市での有効性をみながら見極めていきたいと考えています。

問 都市機能誘導区域を設定するにあたって、スマイルビルを今後どうするのか見解を伺う。

答 駅前の代表的な建物であり、駅からベルロード周辺における機能の充実、再整備を要望する意見があり、今後、判断していきます。

問 物価高騰の折、保護者負担軽減のため令和5年1月～3月分の給食費を全額支援することへの見解を伺う。

答 さらなる物価の高騰が続けば、何らかの対応を検討します。

第4回定例会 一般質問から

美術自然史館の管理運営について



東元 勝己（会派清新）



問 空調が故障したままの美術自然史館では、猛暑のときなど来館者や職員の健康状態、そして作品への影響が懸念される。今後の対策について伺う。

答 美術自然史館は空調設備の故障以降、夏場における施設の最適な温度管理ができず、来館者にはご不便をおかけしています。美術作品への影響については、展示作品以外は館内にある複数の収蔵庫で管理し、特に重要とされる美術作品や資料については、外気の影響を受けにくい構造の収蔵庫で保管しています。しかし、こうした環境が長く続く影響は少なからず及んでくるものと考えます。滝川市の財産として次世代へ継承できるよう、設備の改修や施設の再編も視野に入れ、適切な管理運営について検討を進めています。

幼児の遊び場について



木下八重子（会派みどり）



問 令和4年第2回定例会での答弁で、第2期滝川市子ども子育て支援事業計画において、天候に左右されることなく通年で遊べる施設の設置を検討することとしている旨の話があった。去る10月、厚生常任委員会で視察した石川県小松市のカブッキーランドは、駅前の活性化と子育て環境の充実が高レベルで達成されており、他県も含め多くの住民が利用する人気の施設で、民間の力を活用して整備されている。市長の設置に向けての考えを改めて伺う。

答 現在検討中の「公共施設個別施設計画」が策定され、方向性が決まったなかで、小松市の運営方法なども参考に、どのような運営方法が良いのかを含め、可能性を探っていきます。

児童虐待防止について



佐々木和代（新国会）



問 令和3年度の児童相談所への相談件数は全国で207,659件と過去最高となっており、北海道においても増加している。11月は「児童虐待防止月間」だったが、本市における児童虐待防止の取り組みについて伺う。

答 11月はイオン滝川店において、児童虐待防止のシンボルマークのオレンジリボンと一緒に「こども家庭相談室」、「岩見沢児童相談所」及び「滝川警察署」の電話番号が記載されたポケットティッシュを2,000個配布し、児童虐待問題への関心喚起と積極的な通報を促すための啓発活動を行ったほか、市役所1階ロビーや図書館における啓発展示、関係機関等へチラシ、ポスターの掲示依頼を行うとともに、広報たきかわやホームページでの周知啓発を図りました。

市民の声が反映される施設づくりについて



寄谷 猛男（共産党）



問 新しい文化施設の建設は市民の意見を十分に反映させながら進めるべきだが、市の考えを伺う。

答 ホール機能や複合化する機能など利用する多くの方にとって使い勝手の良い施設となるよう、また将来にわたり末永く市民から愛される施設となるよう、市民や有識者など様々な方々の意見をいただきながら検討していく予定です。なお、市民意見の募集時期につきましては、今後検討します。

問 気軽に立ち寄れる地域カフェの開設について伺う。

答 高齢者の介護予防、地域づくりなど様々な効果が期待できることから、市としても取り組みを推進しています。自由に集える通いの場の開設・運営を希望する市民の方々と情報共有を重ねながら協働して進めていきます。

防犯カメラの増設計画等について



田村 勇（新国会）



問 駅前付近と三楽街付近に防犯カメラの設置が決まったが、今後の増設計画について伺う。

答 現在、市民一丸となって犯罪抑制にかかわる様々な取り組みが進められていますが、防犯カメラについては、設置個所やその効果について検証し、滝川警察署や防犯団体等と情報交換をしながら、今後の進め方について検討したいと考えています。

問 除排雪の苦情に対するマニュアルはあるのかを伺う。

答 除排雪の苦情対応については、地理的条件や近隣環境による要因等の様々な要素をもって、複合的な状況判断かつ臨機応変な対応が必要となり、マニュアル的な対応が難しい一面もあることから、個別に都度現場を確認したうえで対応しています。

公園利用の制約の有無について



荒木 文一（会派清新）



問 市内公園の遊具、スポーツ設備の設置の経緯について伺う。

答 公園改修や新設の際には地域説明会を行い、いただいたご意見やアンケート結果等を基に地域希望に沿った設置に努めており、市の意向だけで判断は行っていない。

問 隣接住民の生活に支障が出る等の問題が発生した場合、公園管理者である滝川市としてどのような対応が可能かを伺う。

答 公園利用に関する様々なご意見、ご要望が寄せられることがあります。ご指摘のように公園と隣接する住民の方々にとって生活の支障となるような問題発生には注意喚起のための看板設置によりマナーを守るよう呼びかけを行います。改善されない場合には、市職員の巡回や教育委員会、町内会と連携し改善対応を図っていきます。

令和4年第4回定例会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	監査報告について	報 告 済
報告第2号	例月現金出納検査報告について	報 告 済
議案第1号	令和4年度滝川市一般会計補正予算（第10号） 電力契約の変更に伴う光熱水費の増額、三楽街への防犯カメラ設置、個人番号カード交付事務費補助金を受けて行うマイナンバーカードの普及促進等を行うための補正です。	原案可決
議案第2号	令和4年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第4号） 令和3年度北海道国民健康保険保険給付費等交付金普通交付金の精算等による補正です。	原案可決
議案第3号	令和4年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第3号） 啓南団地7号棟給排水設備等改修工事の追加、市有地の売却による不動産売却収入等の増額に伴う基金積立金の増額等を行うための補正です。	原案可決
議案第4号	令和4年度滝川市病院事業会計補正予算（第4号） 電力契約の変更に伴う光熱水費の増額のための補正です。	原案可決
議案第5号	滝川ふれ愛の里条例 株式会社北のたまゆらによる管理を行っている滝川ふれ愛の里を、令和5年4月1日から指定管理者による管理を行う公の施設とするための制定です。	原案可決
議案第6号	滝川市産業振興部の公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間の特例に関する条例 滝川市産業振興部が所管する公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間を1年とするための条例の制定です。	原案可決
議案第7号	滝川市議会議員及び滝川市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 滝川市議会議員及び滝川市長の選挙における選挙運動の公費負担限度額の引上げを行うための改正です。	原案可決
議案第8号	滝川市手数料条例の一部を改正する条例 建築主事の廃止に伴い、建築基準法その他関係法令に基づく行政事務に係る手数料を廃止するための改正です。	原案可決
議案第9号	滝川市都市公園条例の一部を改正する条例 滝の川公園に有料公園施設として滝川市テニスコートを設置するための改正です。	原案可決
議案第10号	公の施設の指定管理者の指定について（音楽公民館）	原案可決
議案第11号	公の施設の指定管理者の指定について（市営住宅等）	原案可決
議案第12号	公の施設の指定管理者の指定について（滝川ふれ愛の里（地ビール製造施設を除く。）等）	原案可決
議案第13号	公の施設の指定管理者の指定について（滝川ふれ愛の里地ビール製造施設）	原案可決
議案第14号	滝川地区広域消防事務組合規約の変更について 滝川地区広域消防事務組合の経費の支弁方法を変更するための改正です。	原案可決
諮問1号～3号	人権擁護委員候補者の推薦について 新たに、高嶋 弘美さん、斎藤 寛さん、芳賀 伸吾さんが推薦されました。	可と答申
意見書案第1号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める要望意見書	原案可決

令和4年第5回臨時会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	令和4年度滝川市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議案第2号	令和4年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第3号	令和4年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第4号	令和4年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第5号	令和4年度滝川市下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第6号	令和4年度滝川市病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第7号	一般職の職員の給与に関する条例及び滝川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

※議案第1号～第7号は、令和4年人事院勧告に伴い、期末手当および給与の改正を行うものです。

令和4年第4回臨時会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	専決処分について（損害賠償額の決定） 車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定	報 告 済
議案第1号	令和4年度滝川市一般会計補正予算（第8号） 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を受けて行う子育て世帯への生活支援金の給付および電力等価格高騰緊急支援給付金の給付、電力等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金及び事務費補助金を受けて行う電力等価格高騰緊急支援給付金を給付するための補正です。	原案可決

令和4年度 厚生常任委員会行政視察

滝川市議会では、先進的な取り組みをしている自治体のまちづくりの施策やアイデアを調査する行政視察を行っています。今回は、富山県富山市の「総曲輪（そうがわ）レガートスクエア」、「富山県福祉総合福祉会館」を訪問し、子育て支援や高齢者支援における先進的な取り組みについて学びました。また、駅前開発の一環として子どもの屋内遊戯施設を運営している石川県小松市の「カブッキーランド」を訪問し、開設までの経緯や運営に関するアイデアなどを伺いました。なお、視察結果は、今後の滝川市の子育て・福祉施策に生かすよう提案していきます。

視察期間

・令和4年10月26日(水)～28日(金)

視察目的

・子育て支援施策、福祉施策について

視察先

- ・総曲輪（そうがわ）レガートスクエア
- ・富山県総合福祉会館（サンシップとやま）
- ・カブッキーランド



小松市「カブッキーランド」

議員辞職のお知らせ

令和4年12月31日をもって、7期（28年）務められた水口典一議員、1期（4年）務められた佐々木和代議員が辞職されました。

おふたりの今後のご活躍をお祈り申し上げます。



水口典一議員



佐々木和代議員

インターネット中継のお知らせ

滝川市議会では、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。



たきかわ市議会 ホームページQR▶

傍聴してみませんか

令和5年第1回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
2/26	27	28	3/1	2	3 本会議	4
5	6	7	8	9 本会議 一般質問	10 本会議 一般質問	11
12	13	14	15	16	17 本会議	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	4/1

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

編集後記

長引くコロナ禍や物価高騰等により生活が逼迫する中、昨年11月に開催されたサッカーワールドカップカタール大会では、日の丸を背負い最後まであきらめことなく戦う日本代表選手の姿に私たちは感動と勇気をもらいました。市民の皆さんも記憶に新しいことと思います。

今号の市議会だよりでは、私たちの安全・安心な生活を守ってくださっている消防署員・消防団員の皆さんの活動をより多くの市民の皆さんに知っていただこうと特集しました。

日々の努力を惜しまず、身を削る思いで活動してくださっているその姿を拝見し、サッカー日本代表の選手と重なりました。誰よりも強く、そして優しく、これからも安心で安全な生活を届けてくださるようお願いいたします。忙しい中、取材にご協力をいただきました皆さんに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

たきかわ市議会だより編集委員会

委員長 三上 裕久

発行責任者 滝川市議会議長 関藤 龍也